

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊爲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,671	0.2	247	△3.5	209	△0.9	125	11.2
26年3月期第2四半期	2,665	2.2	256	48.0	211	72.2	113	48.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 165百万円 (26.7%) 26年3月期第2四半期 130百万円 (173.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	13.36	—
26年3月期第2四半期	12.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	6,926	2,905	40.1	295.44
26年3月期	6,749	2,787	39.5	283.54

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,779百万円 26年3月期 2,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,830	4.5	610	5.8	500	0.1	290	△0.3	30.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,000,000 株	26年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	590,849 株	26年3月期	589,785 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,409,706 株	26年3月期2Q	9,411,380 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は政府の経済政策等により企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな景気回復の動きが持続しました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、円安による原材料価格・エネルギーコストの上昇、地政学的リスクや新興国経済の減速といった世界的な景気下振れ懸念もあって、先行きは不透明な状況となっています。

このような状況の下、当社グループは2014年度の経営スローガンを「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」と定め、これまでの常識にとらわれること無く、知識と経験、データに基づく感性豊かな大胆な発想力と行動力により、大きな飛躍への一歩を踏み出す年度とすべく、活動してまいりました。その結果、売上高は前年同期比0.2%増の26億7千1百万円（前年同期26億6千5百万円）となり、利益面では、生産部門における原価低減の推進や経費管理の徹底を継続的に取り組みましたものの、前年同期の退職給付信託資産の運用状況好転影響が無くなったことを主因に、営業利益で同3.5%減の2億4千7百万円（同2億5千6百万円）、経常利益で同0.9%減の2億9百万円（同2億1千1百万円）となり、四半期純利益では前年同期の固定資産除却損が無くなり、同11.2%増の1億2千5百万円（同1億1千3百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門では電設工具が拡販施策により増加したものの、前年同期のレンチ類におけるOEM品需要等が無くなったことにより減少し、ファスニング部門では、新型エアリーベッター・コードレスリベッターの好調な販売は継続しておりますが、工業用ファスナーは大型案件需要が低調となり減少しました。切削工具部門ではOEM品需要が落ち着きを見せたことにより、減少いたしました。海外売上は前年同期に比べ増加しており、大洋州向けのファスニングツールの減少はありましたものの、ハンドツール部門での韓国向けの拡販努力によるモンキレンチ、圧着工具、プライヤ類の増加等、総じて堅調に推移しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比0.4%増の25億5千4百万円（前年同期25億4千5百万円）となりました。利益面では、前述の前年同期の退職給付信託資産の運用状況好転影響が無くなったことを主因に、営業利益が同3.6%減の1億9千2百万円（同1億9千9百万円）となりました。

#### ②レジャーその他事業

ゴルフ練習場への入場者数は前年同期に対し増加いたしましたものの、消費税率引き上げに関する価格転嫁対応を第2四半期以降としたことに加え、お客様一人当たり売上高の低下傾向継続もあって、売上高は前年同期比2.5%減の1億1千7百万円（前年同期1億2千万円）となり、営業利益は、同3.1%減の5千4百万円（同5千6百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は69億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千7百万円増加しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比1億6千6百万円増の42億6千6百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同1千万円増の26億6千万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少がありましたものの、投資有価証券の時価評価による増加があったことによるものです。

#### (負債)

流動負債は前連結会計年度末比2億9千7百万円減の26億9千6百万円となりました。これは主に短期借入金並びに未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は同3億5千6百万円増の13億2千5百万円となりました。これは長期借入金及び退職給付に係る負債の増加によるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し1億1千8百万円増加し、29億5百万円となりました。これは主に配当支出による減少がありましたものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことや投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ6千8百万円増加(前年同期1億4千万円増加)し、12億6千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加や法人税等の支払がありました。売上債権の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上により、資金が3千1百万円増加(前年同期2億8千9百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が3千万円減少(前年同期5千8百万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

リース債務の返済及び配当金支払による支出はありましたが、借入金収入により資金が6千6百万円増加(前年同期8千9百万円減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成26年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,518,945	1,587,212
受取手形及び売掛金	1,175,010	1,143,764
商品及び製品	815,873	945,915
仕掛品	236,064	226,758
原材料及び貯蔵品	183,125	198,472
その他	176,745	169,098
貸倒引当金	△5,275	△4,624
流動資産合計	4,100,490	4,266,598
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	870,781	842,454
土地	738,508	738,508
その他(純額)	588,449	575,184
有形固定資産合計	2,197,739	2,156,148
無形固定資産	29,855	37,037
投資その他の資産	421,805	467,211
固定資産合計	2,649,400	2,660,397
資産合計	6,749,890	6,926,996
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	270,848	245,225
短期借入金	2,123,474	1,912,731
未払法人税等	137,589	74,017
その他	462,320	464,750
流動負債合計	2,994,232	2,696,724
固定負債		
長期借入金	777,580	1,130,322
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
退職給付に係る負債	36,568	40,412
その他	151,237	151,214
固定負債合計	968,505	1,325,068
負債合計	3,962,738	4,021,793
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,296,594	1,375,273
自己株式	△148,784	△148,991
株主資本合計	2,598,856	2,677,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,329	102,468
その他の包括利益累計額合計	69,329	102,468
少数株主持分	118,966	125,407
純資産合計	2,787,152	2,905,203
負債純資産合計	6,749,890	6,926,996

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,665,538	2,671,482
売上原価	1,710,615	1,706,217
売上総利益	954,922	965,265
販売費及び一般管理費	698,585	717,919
営業利益	256,337	247,345
営業外収益		
受取利息	1,321	113
受取配当金	3,047	3,057
受取家賃	3,857	4,049
その他	4,056	3,436
営業外収益合計	12,281	10,656
営業外費用		
支払利息	29,297	24,767
売上割引	22,704	22,268
その他	4,755	1,067
営業外費用合計	56,757	48,103
経常利益	211,861	209,898
特別損失		
固定資産除却損	10,277	39
特別損失合計	10,277	39
税金等調整前四半期純利益	201,583	209,859
法人税等	82,581	78,431
少数株主損益調整前四半期純利益	119,002	131,428
少数株主利益	5,975	5,698
四半期純利益	113,026	125,730

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,002	131,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,444	33,881
その他の包括利益合計	11,444	33,881
四半期包括利益	130,446	165,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,977	158,869
少数株主に係る四半期包括利益	6,469	6,440

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	201,583	209,859
減価償却費	109,650	93,631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△81	△732
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,394	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	3,843
受取利息及び受取配当金	△4,368	△3,171
支払利息	29,297	24,767
為替差損益(△は益)	△179	△460
固定資産除却損	10,277	39
売上債権の増減額(△は増加)	37,820	31,186
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,870	△136,082
その他の資産の増減額(△は増加)	12,739	△14,693
仕入債務の増減額(△は減少)	△410	△25,622
その他の負債の増減額(△は減少)	10,453	1,193
小計	419,259	183,758
利息及び配当金の受取額	3,243	3,720
利息の支払額	△32,031	△25,444
法人税等の支払額	△101,253	△132,833
法人税等の還付額	0	2,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,217	31,828
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△55,106	△28,602
無形固定資産の取得による支出	△299	△440
投資有価証券の取得による支出	△1,967	△1,922
その他	△1,207	486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,580	△30,479
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	58,332	101,000
長期借入れによる収入	550,000	620,000
長期借入金の返済による支出	△644,269	△579,001
リース債務の返済による支出	△30,415	△28,283
自己株式の取得による支出	△59	△207
配当金の支払額	△23,528	△47,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,941	66,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	179	460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,876	68,266
現金及び現金同等物の期首残高	1,049,873	1,192,345
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,190,750	1,260,612

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,545,333	120,205	2,665,538	—	2,665,538	2,665,538
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,545,333	120,205	2,665,538	—	2,665,538	2,665,538
セグメント利益	199,635	56,701	256,337	—	256,337	256,337

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,554,331	117,151	2,671,482	—	2,671,482	2,671,482
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,554,331	117,151	2,671,482	—	2,671,482	2,671,482
セグメント利益	192,425	54,920	247,345	—	247,345	247,345

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。